



**Little
League**

こんにちは、宮城県リトルリーグ野球協会です。

「日本のリトルリーグ」と、
私たち、「宮城県リトルリーグ野球協会」について説明します。



リトルリーグは、アメリカのウィリアムポートに本拠地を置いた、80カ国以上7,500を超える地域社会で多くの選手が活躍している野球団体です。

日本では1955年頃から活動が始まり、当初は東京近郊でわずか5~6リーグの規模でした。1959年、米国人のBill Hatchさんが日本で初めて正式に国際登録された日本のリーグを組織しました。



それから5年後、アジアではじめてのオリンピック大会が東京で開催された1964年、日本リトルリーグ野球協会が発足しました。この年は、アメリカでリトルリーグが誕生してから25周年にあたるため、国際本部からの呼びかけもあって協会が設立されました。



1970年になるとそれまでリトルリーグをバックアップしてきた三井物産に加え、フジ・サンケイグループも応援することになり、全国的な組織として年々拡大していました。その結果2011年には一般財団法人日本リトルリーグ野球協会を設立、2012年に公益財団法人として認定されました。

また日本は、リトルリーグの世界選手権に1962年から参加し、1967年に西東京リーグが日本勢初の世界一になるなど注目を集めました。近年では2017年の東京北砂（東京連盟）を含め、日本はこれまで11回、世界一になっています。



現在日本のリトルリーグには北海道から九州まで全国に12の連盟があり、「宮城県リトルリーグ野球協会」は東北連盟に所属しています。2021年までは県内で7リーグが加盟していましたが、近年の少子化やルール改正により、大会によって出場できるリーグが減少したため、2022年から「宮城リーグ」を新たに創設しました。

県内のリトルリーガーにとって、「宮城リーグ」に選ばれることが1つの大きな目標となり、野球の楽しさ・厳しさを教わりながら、日々練習に取り組んでいます。



また2023年秋から、今までの「メジャー部門」「インターミディエット部門」に続き、「ジュニア部門」が発足しました。

これにより、世界を目指せる大会が3回に増え、ますます充実したリトルリーグ生活が楽しめます。

仲間と共に全国・世界を目指してみませんか？

宮城県リトルリーグ野球協会では、リトルリーガーを募集しています。

宮城から世界へ…